

スーパーマッフル・デジタル for Android 活用マニュアル

本文中の略称

SMDA = スーパーマッフル・デジタル for Android(スマートフォン・タブレット用)

SMD = スーパーマッフル・デジタル(パソコン用)


CONTENTS

準備	Android端末にAndroidの「Playストア」からアプリをインストール	2
	Android端末に地図・検索データやパソコンで作成した「カスタム情報」を格納する	2
基本操作	「SMD」と「SMDA」の表示イメージの比較	4
	Android端末の操作と起動方法	5
各種機能	目的のエリア地図を表示する[住所・駅・周辺の検索]	6
	「カスタム情報」の活用	8
	GPSを活用する	10
	クラウド環境を活用する&情報を記入、保存する	11
	SMDA形式の既存のカスタム情報ファイルに情報を追加、編集、上書き保存する	13
	SMD形式のカスタム情報ファイルに、「SMDA」で情報を追加、編集、上書き保存する	14
	「SMDA」の情報を「SMD」に追加する	15
	新規情報を「SMD」に追加、編集する	17
設定	Android端末側の各種設定 & 地図が表示できない場合	18

****ご承諾ください****
画像イメージは開発中のものも含まれます

■ Android端末にAndroidの「Playストア」からアプリをインストール

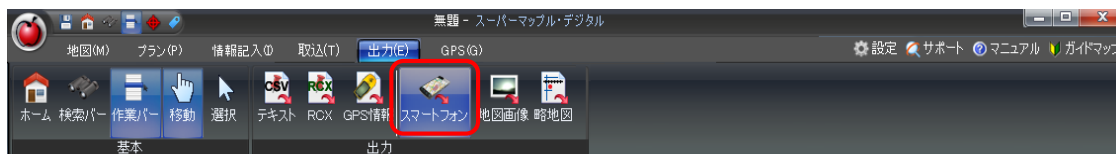
※スーパーマップル・デジタル for Android(略称：SMDA)

- ① 「Playストア」にて  で検索し、「スーパーマップル・デジタル for Android」をインストールしてください。

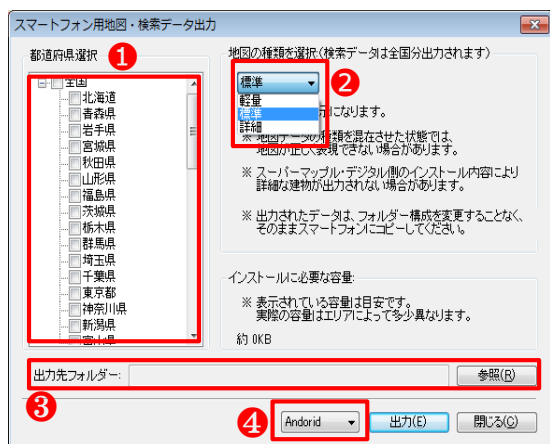
※旧スーパーマップル・デジタルfor Androidがインストールされている場合は「上書き」して下さい。
アプリを「アンインストール」する時は、「Data」フォルダーのバックアップを必ず取って下さい。

■ Android端末に「地図・検索データ」やパソコンで作成した「カスタム情報」を格納する。

- ① 「SMD」からスマートフォン用地図データを出力します。
パソコンで「SMD」を起動し、[出力]の[スマートフォン]を選択します。



- ② Android端末に収録したい都道府県名に☑を入れ選択し、[出力]をクリックします。



- ① 都道府県を選択すると、必要容量が表示されます。
- ② 出力する地図の種類を選択
 - ・軽量: 情報をシンプルにした表現で、容量が小さくなります。
 - ・標準: 一般的な情報を表現しています。
 - ・詳細: 「等高線」「家形」まで表現、容量が大きくなります。
 * 検索用の「住所、駅」データなども同時に出力されます。
- ③ 出力先フォルダー 例: 「Desktop」に出力
地図を出力するフォルダー先は任意に設定します。
* 出力された地図・住所・駅データ・地図スタイルなどは「Android」フォルダーに出力されています。
※地図スタイルはSMD15から出力対応
- ④ [Android]になっていることを確認し、[出力]します。

- ③ ②で出力したデータを、パソコン「SMD」からAndroid端末「SMDA」に格納します。

【重要】パソコンとAndroid端末のマニュアル参照し、パソコンとUSBで接続してください。
接続すると、Android端末は、パソコン側で「リムーバブルディスク」「メモリーカード」として認識されます。

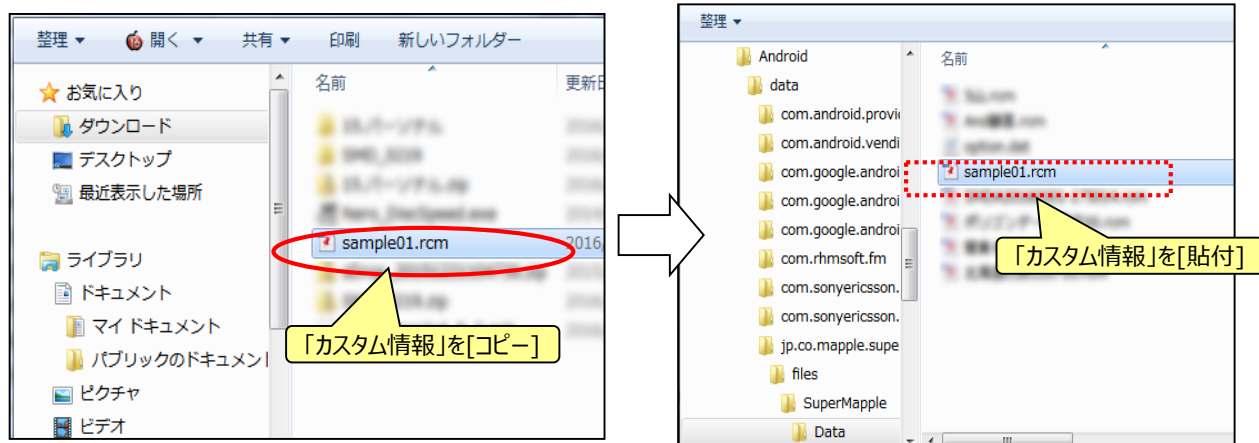


Androidフォルダーの内容
 [Data] 情報を格納するフォルダー
 [Map] 地図が格納されるフォルダー
 [smdvp.db] 検索用の住所・駅データなどのファイル
 [Styles] 地図の表示意匠フォルダー
 ※[Styles]はSMD15から出力対応

これで、Android端末に地図、地図スタイル、住所、駅データなどが格納されます。

- ④ 「カスタム情報」をAndroid端末に格納します。★<http://smd.mapple.net/manual/pdf/sample01.rcm>
sample01.rcm がダウンロードできます。

パソコンで作成した「カスタム情報(rcmファイル)」を選択し、Android端末の
Android→data→jp.co.mapple.supermapple→files→「Super Mapple」の「Data」に[貼り付け]します。
例：sample01をAndroid端末に[貼り付け]



【重要】接続したAndroid端末のメモリーをパソコンで認識させることが重要です。
各機種において接続方法が違いますので、使用機種のマニュアルを参照してパソコンとの接続を行ってください。
※「カスタム情報」ファイルの大きい場合、表示ができない可能性があるため、取込み可能な1つの「カスタム情報」ファイルの容量を**5MB**に制限しております。

- ⑤ 地図やカスタム情報の格納が終わりましたら、パソコンとAndroid端末とのUSB接続を解除し、取り外してください。

※図1 地図種類の参考イメージ



快適に使うために

「カスタム情報」ファイルの大きい場合、機種により表示ができない可能性があるため、取込み可能な1つの「カスタム情報」ファイルの容量を**5MB**に制限しております。

Android端末の特性

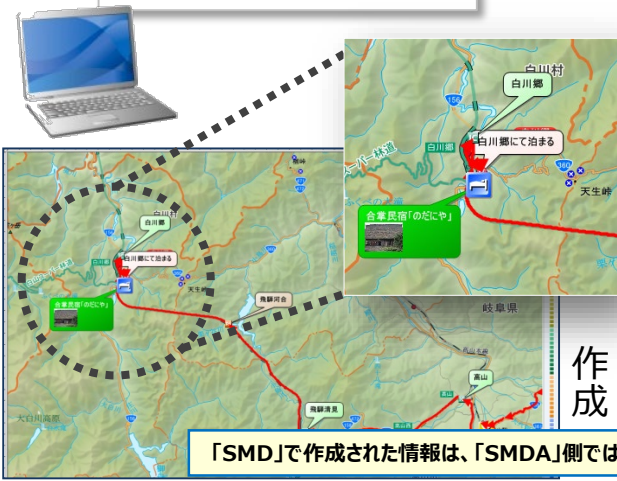
いろいろなアプリを起動したり、映像などを見たりした後はメモリー不足を起こし、次のアプリが起動できないことがあります(アプリが完全終了せず裏で動いていることがあります) その際は、以下の方法で問題が解決する場合があります。

- ・**アプリを完全終了させる**：本体の[メニュー]ボタンから[設定]の[アプリケーションの管理]で、該当アプリの詳細画面で「停止」ボタンを押す
- ・**メモリーをクリアする**：電源ボタンを一度切り、しばらく待ってから電源を入れ直す


【ご参考】無料アプリで、メモリー内の空き容量を回復してくれるアプリが各雑誌などで紹介されています。
お客様の使用環境に準じたアプリをご確認の上、ご使用することをお勧めいたします。

■ カスタム情報の「SMD」と「SMDA」の表示イメージの比較

「SMD」での表示




「SMDA」での表示




作成 ⇨ 表示

「SMD」で作成された情報は、「SMDA」側ではアイコン、名称表示、色表示などは固定化されます



表示 ⇨ 作成



「SMDA」で作成された情報は、「SMD」側ではアイコン、名称表示が赤色で表示されます

■ 「スーパーマッフル・デジタル(SMD形式)」と「スーパーマッフル・デジタル for Android(SMDA形式)」の表示、保存の差異

RCM使用項目	SMD形式データ	Android端末での表示・保存(SMDA形式データ)	
		SMD形式を表示した場合	保存および記入
基本情報	フキダシ線対応	注:フキダシ線は未対応	注:フキダシ線は未対応
名称	○	○	○
フリガナ	○	○	メモ欄、または記事欄にまとめて記入、保存
住所	○	○	
郵便番号	○	○	
T E L	○	○	
チエック	○	○	
評価	○	○	
順番	○	○	
E-mailアドレス	○	○	
日時	○	○	
コメント:テキスト	○	○	
【写真】	○(複数可能)	○(bmp,jpg,png,gif対応、ただし1画像に限る)	○(bmp,jpg,png,gif対応、ただし1画像に限る)
【オブジェクト】	○	×	×
【Web】	○(複数可能)	○(ただし1URLに限る)	○(ただし1URLに限る)
【色と線】	○	○	×(保存、記入はできない)
【表示内容(設定)】	○	△(設定不可、固定)	△(設定不可、固定)
【備考】	○	×	×

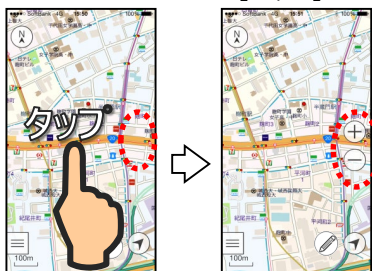
※SMD形式で作成された「サブフォルダ」は、SMDA形式ですべて「メインフォルダ」に集約されます。

■ Android端末の操作と起動方法

① 「スーパーマップル」をタップし、地図を表示させます。また、画面を「長押し」し地図表示スタイルの変更も出来ます。

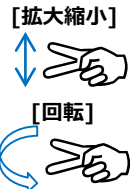


② 地図面をタップすると[+, -]ボタンが表示されます。



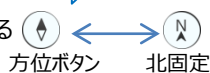
拡大縮小は[+, -]ボタンの他、下記の方法でも可能です。

[拡大縮小] 2本の指を広げる、狭める
[拡大] ダブルタップする



[回転] 2本の指を回転させる
[移動(スクロール)] 指でスライドする

[北固定/解除] 方位ボタンをタップする

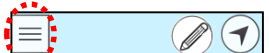


地図表示できない場合 (P20参照)
OSのバージョンや各メーカーのSDカードの仕組みなどに若干違いがあり、設定が必要になります。

地図が表示されている状態から、[ホーム]ボタンを2回タップします。



③ ≡ をタップするとメニューボタンが表示されます。



「SMDi」の各メニューボタンの役割

- ホームに戻る
- ホームの登録
- 目的地の設定
- 検索マーカを表示
- 住所検索
- 鉄道駅検索
- 周辺検索
- カスタム情報の検索
- カスタム情報を開く
- カスタム情報の保存
- GPSログを開く
- すべて削除
- 共有
- 設定
- ヘルプ

- [ホームに戻る]** ホーム登録されている位置を表示
- [ホームの登録]** 自宅など基準となる位置を登録、削除
- [目的地の設定]** により、現在地から目的地方向へ矢印を表示
- [検索マーカを表示]** により、検索地点にピンのマーカを表示
- [住所検索]** 住所で地図移動
- [鉄道駅検索]** 駅の名称で地図移動
- [周辺検索 (飲食店)]** 地図の中心位置から500m範囲の飲食店を表示
- [カスタム情報の検索]** 地図に表示されているカスタム情報を検索
- [カスタム情報を開く]** 格納されているカスタム情報を地図に表示
- [カスタム情報の保存]** 地図に書き込まれた情報を保存
- [GPSログを開く]** GPSログを地図に表示
- [すべて削除]** 地図に表示されている情報を画面から削除、データは削除されません。
- [共有]** 通信環境が必要、Cloud と連携
- [設定]** GPS情報などの設定をします (P18参照)
- [ヘルプ]** 通信環境が必要、オンラインで使い方を表示

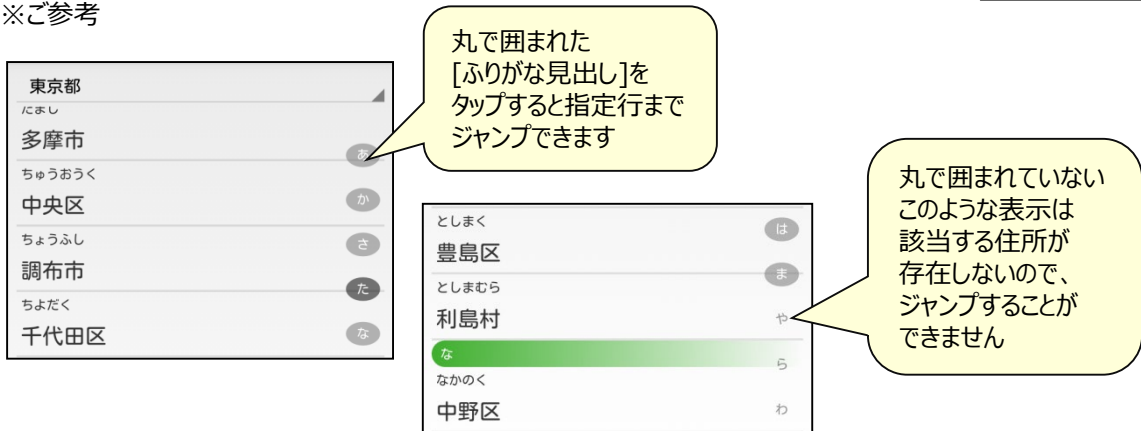


■ 目的のエリア地図を表示する[住所・駅・周辺の検索]

① ☰メニューの[住所検索]をタップ、「都道府県」から順番にタップします。



※ご参考



② ☰メニューの[鉄道駅検索]をタップし、「都道府県」から順番にタップします。あるいは🔍で「よみがな」を入力・検索し、駅名を選択します。



[注意]「漢字」で検索する場合は、「○○駅」を選択しないでください。
例：「東京」は検索対象となりますが、「東京駅」は対象となりません。



③ ☰ メニューの[周辺検索]をタップし、地図表示中心から500m範囲の飲食店、コンビニ、病院を検索します。







目的の場所をタップし [目的地に設定]を選択します

※[移動]を選択すると、単純に地図が該当エリアに移動します。

現在地から目的地に矢印が表示されます

④ 目的地を解除します。


目的地を設定すると赤色の方向矢印が表示されます。解除するには、☰ メニューから[目的地の解除]をタップします。




解除するには、[目的地の解除]をタップ

■「カスタム情報」の活用

例:P.3の「sample01」を使用します

①  メニューの[カスタム情報を開く]をタップし、[カスタム情報一覧] から「sample01.rcm」を選択します。



② [カスタム情報の検索]をタップすると、取り込んだ情報が表示され、スクロールして、該当する名称をタップすると、地図が移動します。また、 をタップし[名称] を入力すると該当の「カスタム情報」が検索されます。

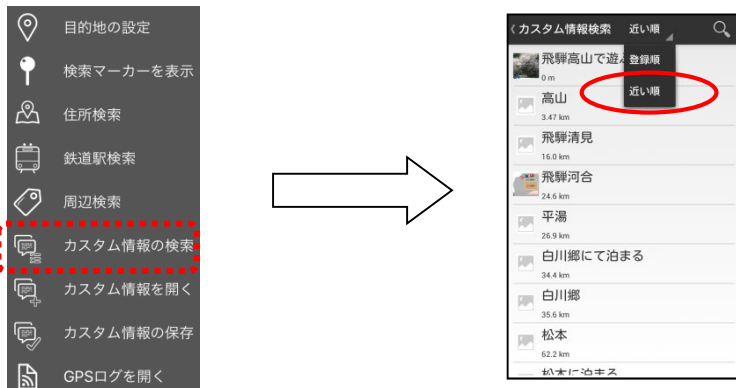


③ 該当の名称を「長押し」するとメニューが表示され、編集などが出来ます。

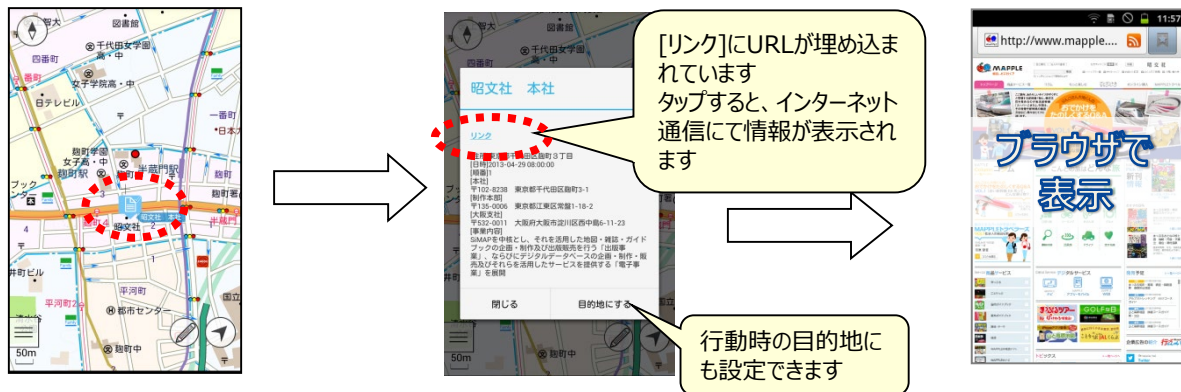


- [削除] 地図上の表示を削除します。
保存されている情報(データ)は削除されません。
- [編集] 既存情報をベースに、新規情報を作成できます。
* 編集方法はP.13を参照
- [目的地に設定] 移動時の目的地に設定できます。
現在地から目的地まで、直線的に矢印が表示されます。
- [プレビューを表示] 情報の内容を表示します。

④ [カスタム情報の検索]をタップし、「近い順」を選択すると、取り込んだ情報が「地図の中心」から近い順に表示されます。



⑤ 表示されている「カスタム情報」のアイコンを「長押し」すると内容が表示されます。



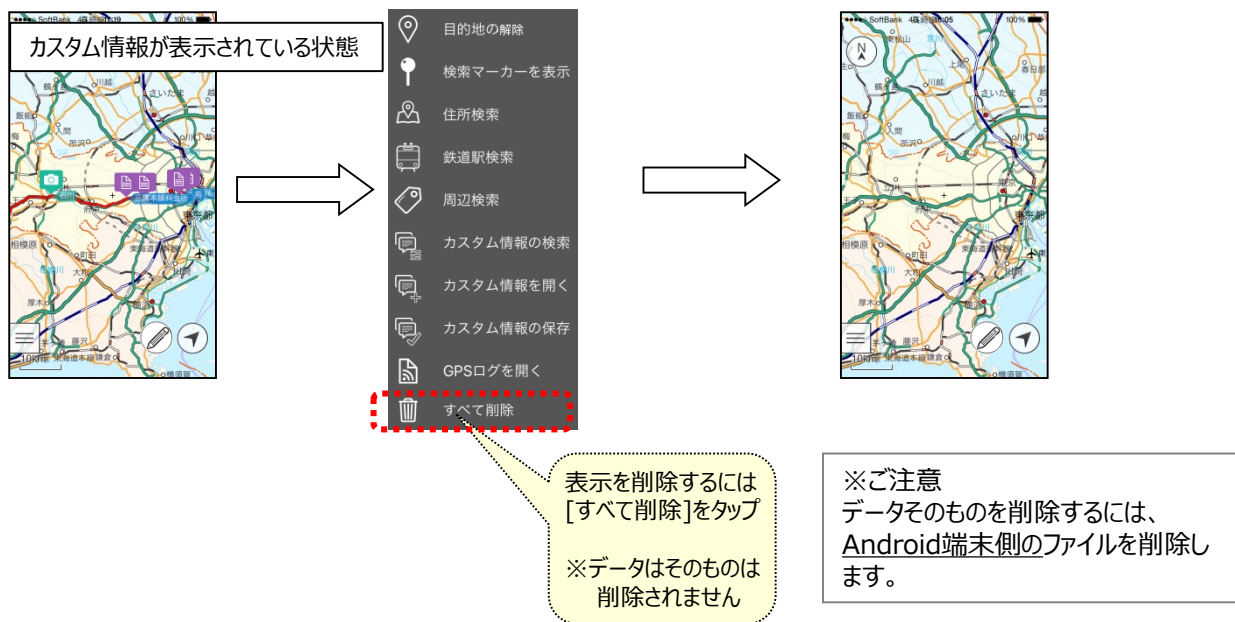
[リンク]にURLが埋め込まれています
タップすると、インターネット通信にて情報が表示されます

行動時の目的地にも設定できます

⑥ 地図上に表示している「カスタム情報」などの表示を削除します。

[メニュー]から[すべて削除]をタップします。

※取り込み時に使用した「カスタム情報」ファイルなどのデータそのものは削除されません。





カスタム情報が表示されている状態

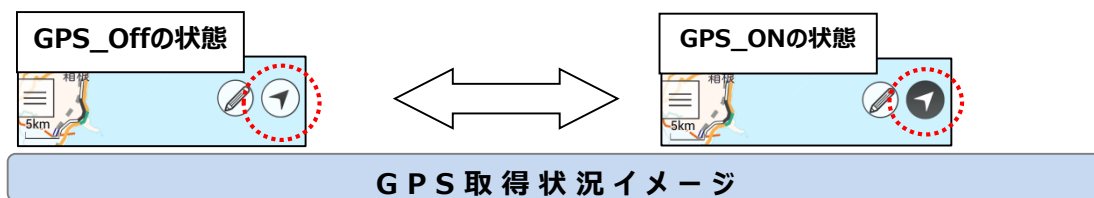
- 目的地の解除
- 検索マーカーを表示
- 住所検索
- 鉄道駅検索
- 周辺検索
- カスタム情報の検索
- カスタム情報を開く
- カスタム情報の保存
- GPSログを開く
- すべて削除**

表示を削除するには [すべて削除]をタップ
※データはそのものは削除されません

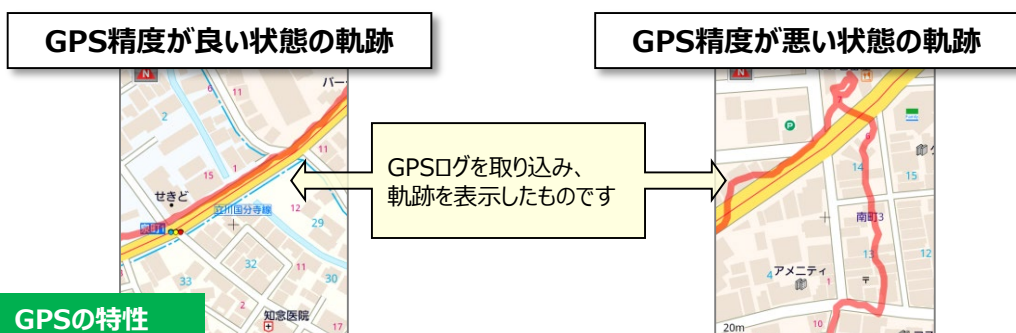
※ご注意
データを削除するには、Android端末側のファイルを削除します。

■ GPSを活用する

- ①  をタップするとGPS位置情報を取得し、現在地を表示し、 をタップするとGPSが、停止されます。
GPSログも記録する場合は設定（参照P18）で「ログを保存」ONにしてください。



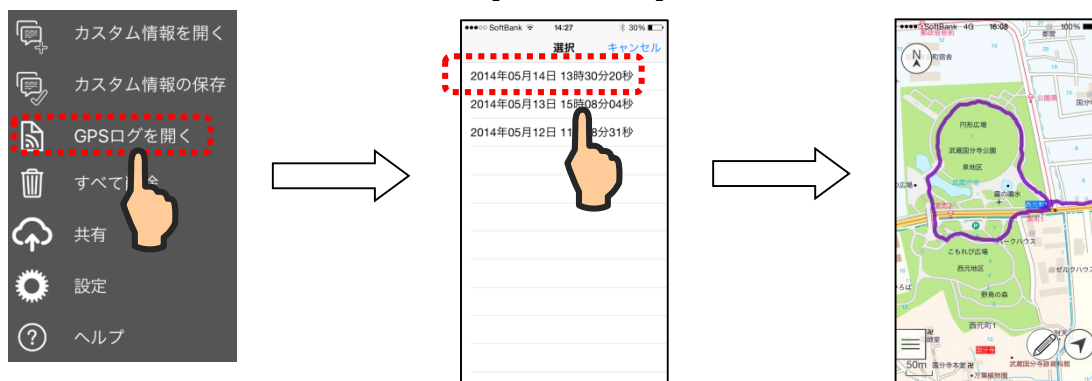
● ● ● は受信感度が低く位置確定できず、● ● ● は感度が良く位置確定できる状態を表します。







GPSの特性
スタート時のGPSの電波は、公園などの障害物が少ない空間では良く取得できます。狭い空間の所では、取得に時間がかかり、トンネル、室内では電波の取得はできません。
また、一度取得をすると、再取得の時は速やかに取得できます。ビル街などでは、窓ガラスなどの影響により電波が反射し精度が狂うことがあります。

【重要】位置情報(GPS機能)の取得時間や精度は、ご使用の環境に依存します。
GPS取得まで「数分」かかります。室内、ビルの谷間などではGPSが取得できない場合があります。

- ② 取得したGPSログを地図上に表示する時は、[GPSログを開く]をタップします。

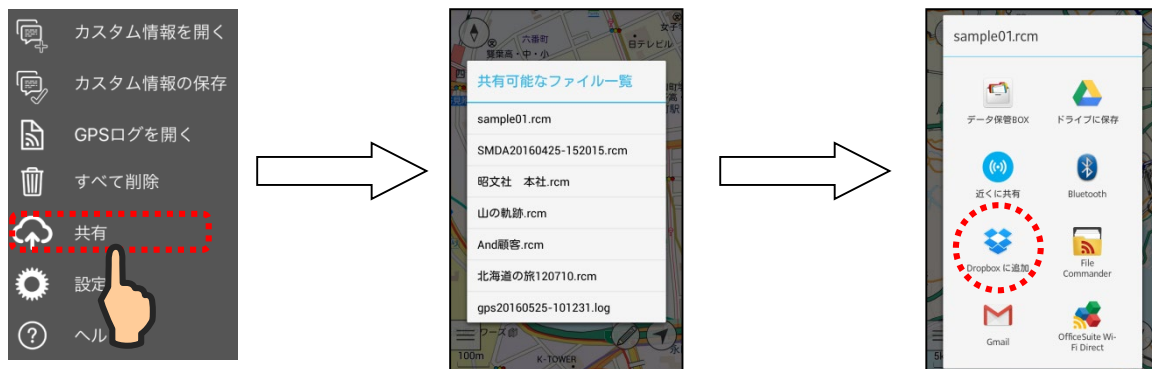


GPS取得中に地図移動した場合
画面下に    アイコンが表示されます。
 アイコンをタップすると、GPS取得時の位置に戻ります。

■ クラウド環境を活用する

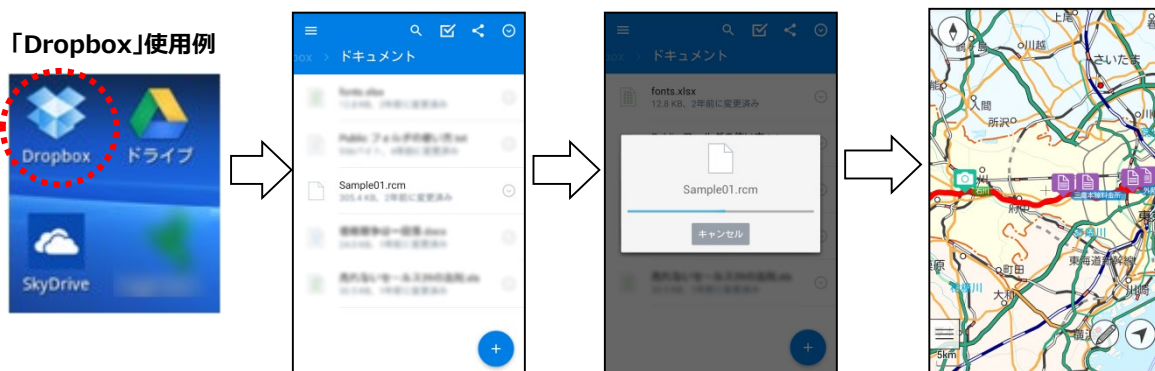
① 「SMDA」のデータをクラウドにアップロードする（例：Dropboxを使用）

☰ メニューから [共有] をタップし、クラウドにアップロードするファイル名を選択します。
使用している「クラウド名称」をタップして、クラウドの操作方法に基づき [アップロード] して下さい。



② クラウドのデータを「SMDA」にダウンロードする

Android端末の画面から、対象の「クラウド名称」をタップし、ダウンロードするファイルを選択します。
クラウドの操作方法に基づき操作して下さい。



■ 情報を記入、保存する

① 新規に情報を記入します。

[記入]ボタンをタップし、記入する場所を長押しして[はい]を選択します。記入画面の[名称]欄をタップし、名称を記入します。

ソフトキーボードの **次へ** をタップし、[メモ]欄に必要な情報などを記載します。 例:Samsung日本語キーボード使用



② 画像を取り込む場合は、「NO IMAGE」欄をタップし、[アルバム] を選択し、表示するアプリを選択して、画像を選択します。次に、[登録]をタップすると記入が完了します。



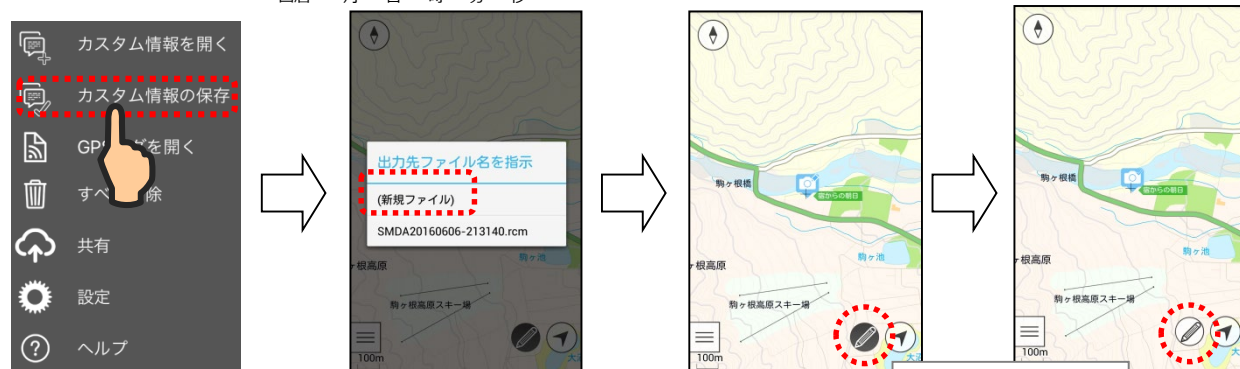
[写真を削除] は、表示写真を削除しますが、保存されているデータは削除されません。

[写真を撮る] は、カメラ機能搭載のAndroid端末であれば、直接カメラから写真を取り込むことができます。

③ メニューから[カスタム情報の保存]を選択し、[出力ファイル名を指示]から[新規ファイル]を選択します。

ファイル名は、SMDAyyyyymmdd-hhmmss.rcmというルールで付けられます。

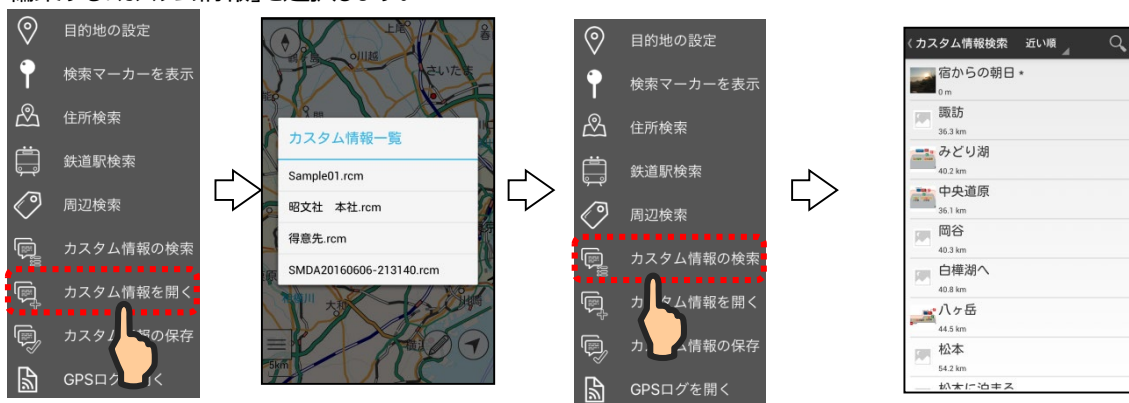
西暦 月 日 時 分 秒



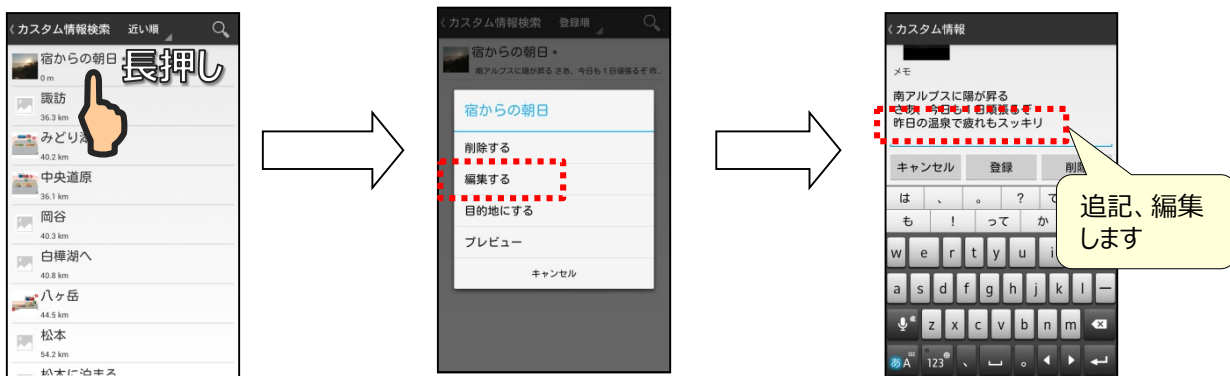
記入の終了は、
[記入]をタップします

■SMDA形式の既存のカスタム情報ファイルに情報を追加、編集、上書き保存する

- ① 情報内容に追記、編集するには、[カスタム情報を開く]から該当のファイルを選択し、[カスタム情報の検索]から編集する「カスタム情報」を選択します。

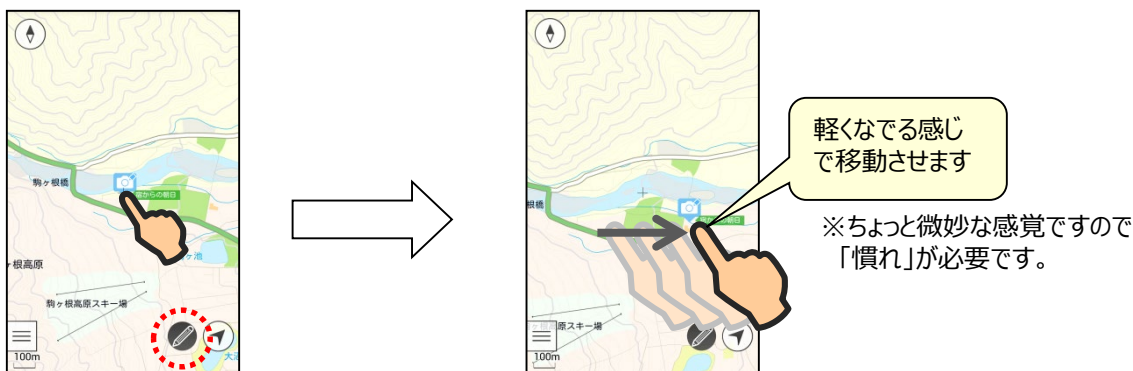


- ② 該当のカスタム情報を「長押し」、「編集する」をタップします。追記、編集後に「登録」をタップします。



編集終了後、[カスタム情報の保存]をタップし、取り込んだファイル名をタップすると上書きします。

- ③ 情報の位置を修正するには、[記入モード]で該当アイコンの上を軽くなでる感じで移動させます。



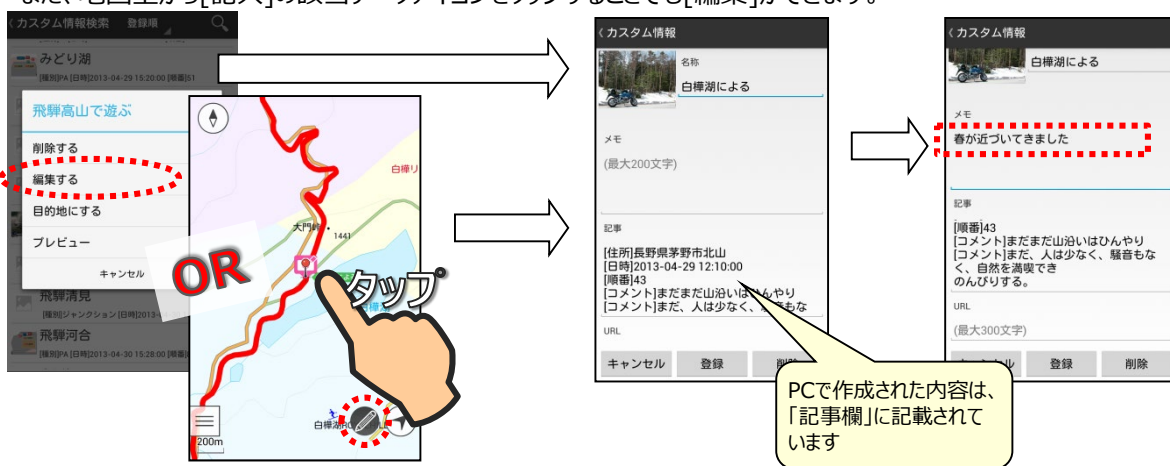
■ SMD形式のカスタム情報ファイルに、「SMDA」で情報を追加、編集、上書き保存する

【重要】パソコンで行った「カスタム情報(SMD形式)」は、元データの保全のため変更されません。別途SMDA形式として保存されます。

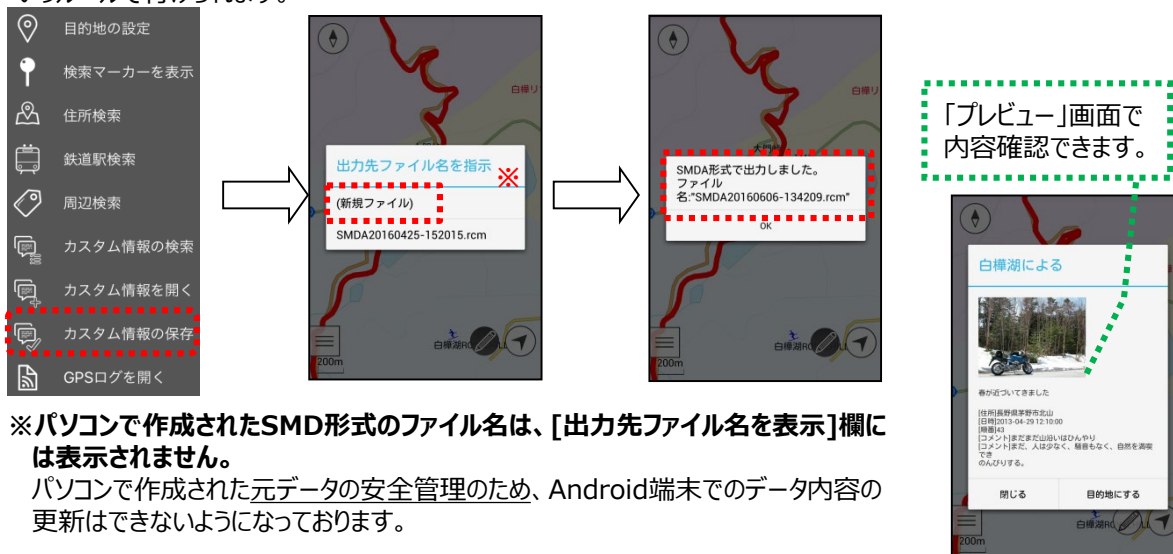
① ☰メニューのから [カスタム情報を開く] をタップし、[カスタム情報一覧] から「sample01.rcm」を選択します。



② ☰メニューのから [カスタム情報の検索] で編集する情報を「長押し」で表示し、[編集する] をタップします。編集可能な画面が表示されるので、[メモ欄] をタップし入力し、[登録] します。また、地図上から [記入] の該当データアイコンをタップすることで [編集] ができます。



③ 編集終了後は、メニューの [カスタム情報の保存] で、保存されます。SMDA形式で保存されるためファイルは新規に作成され、ファイル名はSMDAyyyyymmdd-hhmmss.rcm というルールで付けられます。

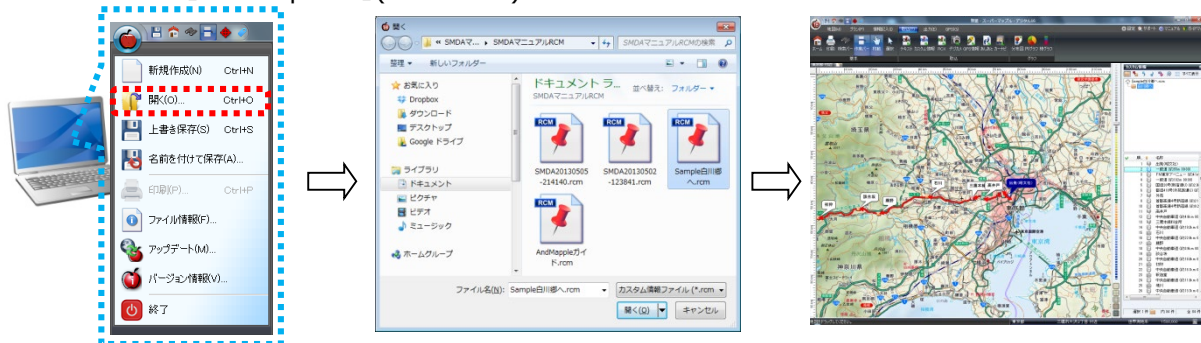


※パソコンで作成されたSMD形式のファイル名は、[出力先ファイル名を表示] 欄には表示されません。パソコンで作成された元データの安全管理のため、Android端末でのデータ内容の更新はできないようになっております。

■「SMDA」の情報を「SMD」に追加する

例:「sample01」ファイルに追加した情報や新規に記入した情報を追加します

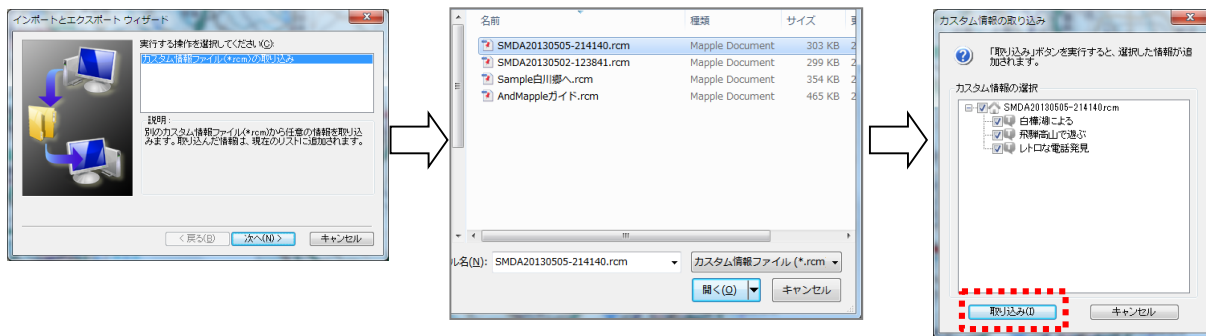
① パソコンの「SMD」で「sample01」(rcmファイル)を開きます。



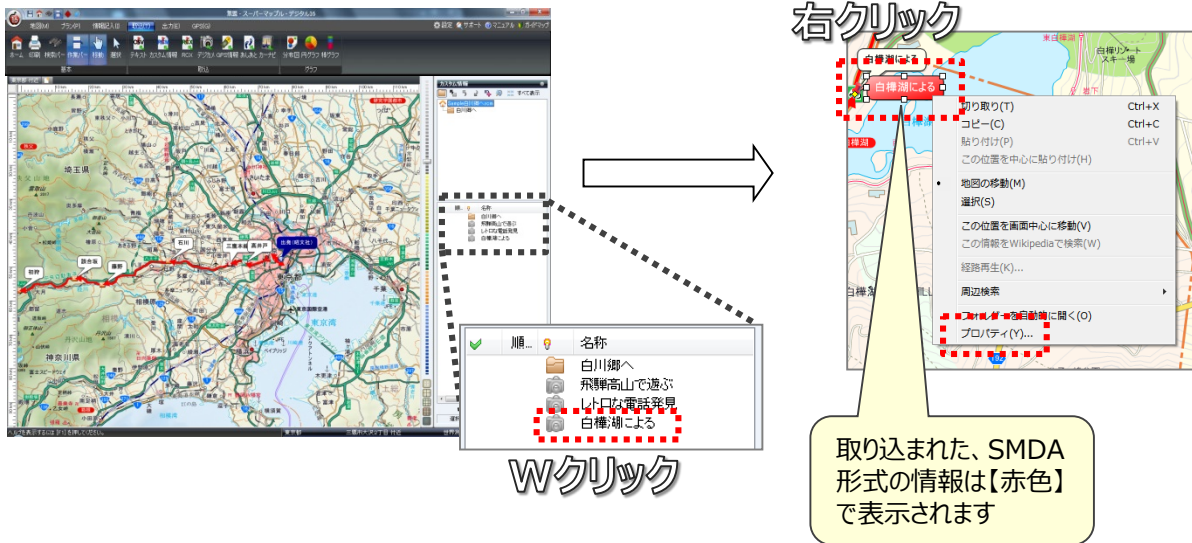
② 「SMDA」で出力したファイルを、[取込]の[カスタム情報]で取り込みます。



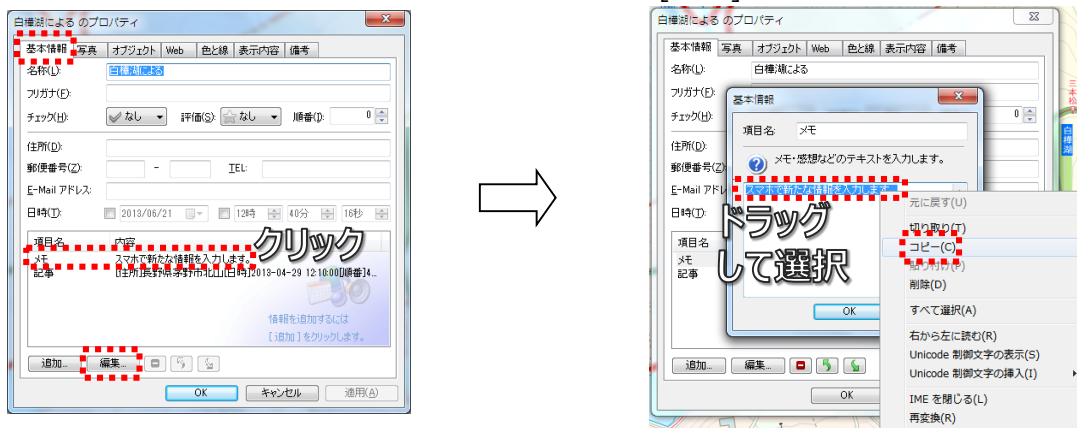
③ [インポートとエクスポートウィザード]の[次へ]をクリック後、SMDA形式のファイルを選択し、[取り込み]をクリックします。



④ カスタム情報欄「白樺湖による」をダブルクリックし、赤色アイコンの「白樺湖による」を右クリックで「プロパティ」を選択します。



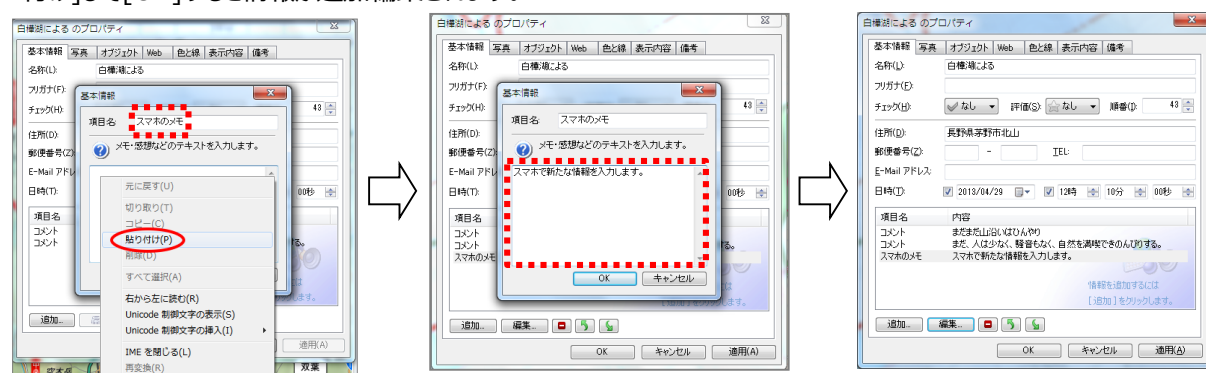
- ⑤ 「白樺湖による」のプロパティの[基本情報]タブにある[項目名][メモ]（「SMDA」で記入された内容）をクリックし、[編集]を選択します。
「SMDA」で記入したテキストをドラッグして選択し、右クリックで[コピー]を選択します。



- ⑥ 「SMDA」のデータを「SMD」に追加・編集します。
まず、SMDのリボン[情報記入]タブの[基本]グループの[選択]をクリックします。「白樺湖による」の白色アイコンを右クリックし、[プロパティ]を開きます。「白樺湖による」のプロパティで、[基本情報]タブの[追加]をクリックします。



- ⑦ 項目名欄に「項目名」を入力し(例:スマホのメモ)、[テキスト入力]欄で右クリックし、⑤でコピーしたテキストを[貼り付け]して[OK]すると情報が追加編集されます。

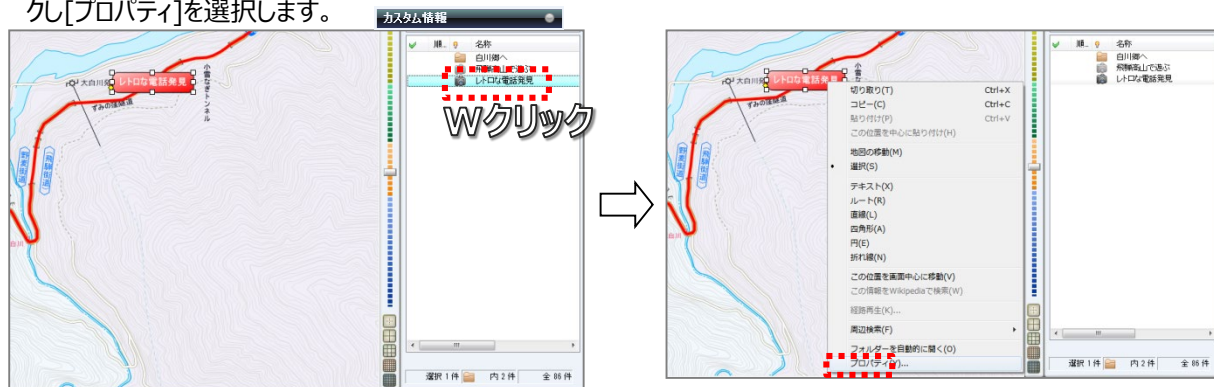


- ⑧ 不要になった「SMDA」の情報は、カスタム情報欄の名称の上で右クリックし、削除できます。



■ 新規情報を「SMD」に追加、編集する

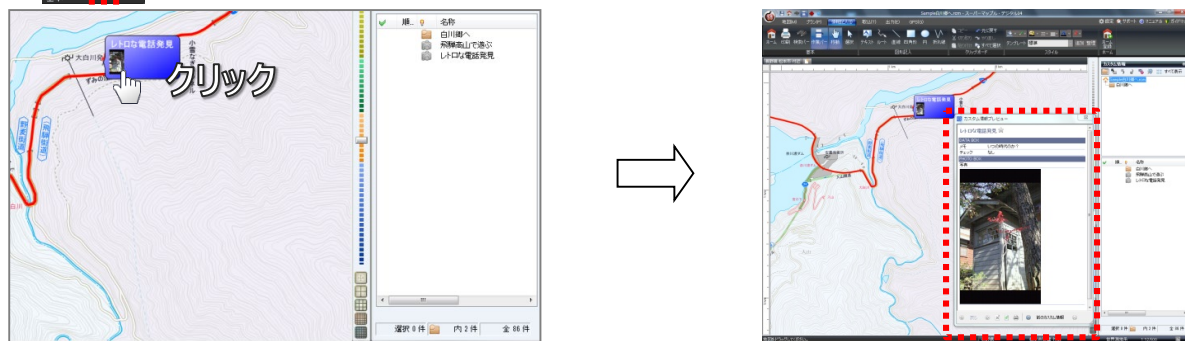
- ① カスタム情報欄の「レトロな電話発見」をダブルクリックします。次に、「カスタム情報」の赤色アイコンの上で右クリック[プロパティ]を選択します。



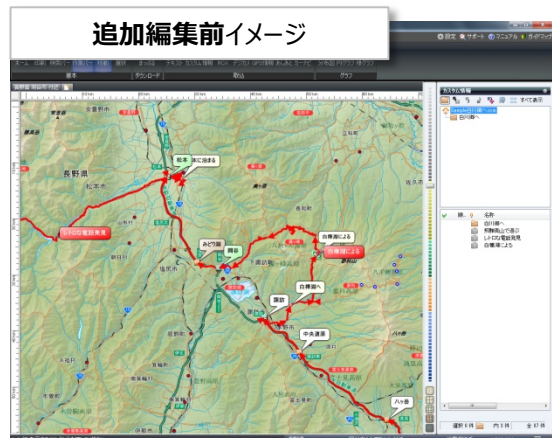
- ② SMDA形式のデータをSMD形式で編集します。「レトロな電話発見」のプロパティの[色と線]タブでアイコンとテキストの色を、[表示内容]タブも任意の内容で設定します。



- ③ を選択しカスタム情報をクリックすると、内容をプレビューで確認できます。



追加編集前イメージ

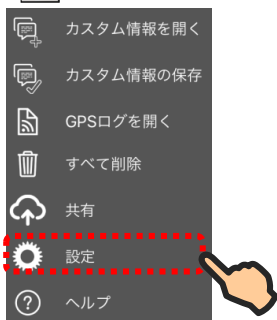


追加編集後イメージ



■ Android端末側の各種設定

①  メニューから[設定]を選択します。



②項目内容の初期設定を確認し、必要な場合は変更してください。



すると、ホームポジションの位置にホーム画像が表示されます。

すると、カスタム情報テキストにラベルが表示されます。

すると、地図画面左側に拡縮ボタンが表示されます。

地図をドラッグしたり、カスタム情報をタップしたりする時の感度を調整します。数値が小さいほど敏感に反応するようになります。

地図データが表示されない場合、タップし地図が収録されている場所を入力します。
使い方は（P19）参照

本体の画面設定が表示されます。画面の明るさなどを調整したりします。

地図に表示するGPS軌跡の長さを、[なし/標準/長め]から選択できます。

にすると、GPS衛星情報を記録します。(GPSがONの場合)

にすると、GPS起動中は常に画面が表示されるが、バッテリー消費量が大きくなります。

すると、標高・速度などの現在地取得状況が画面上に表示されます。(GPSがONの場合)

すると、GPSの受信状況を表示します。

すると、NMEAデータから日時・位置・高さ情報を記録します。にすると、NMEAデータすべてを記録しますが、ログファイル容量が大きくなるのでご注意ください。

このアプリのバージョン情報が表示されます。

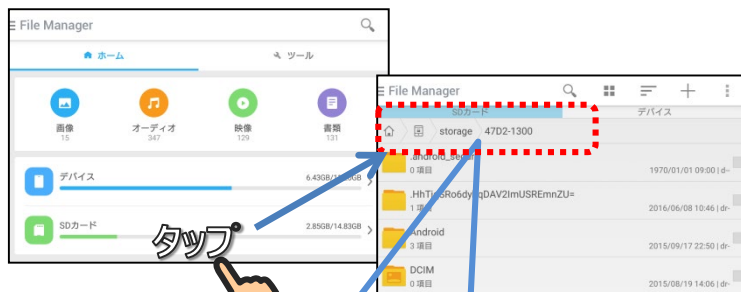
■参考:地図が表示されない場合

Android機種の特徴として、OSのバージョンや各メーカーのSDカード「パス」の名称や仕組みなどに若干違いがあります。
よって、地図データを格納しても地図が表示されないことがまれにあります。

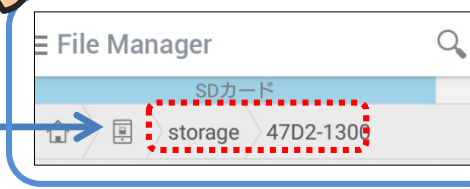
① 地図データを外部SDカードに格納した箇所（収録パス）をファイルマネージャなどで確認します。

【例：Yahoo!ファイルマネージャー】

【例：ファイルマネージャー】

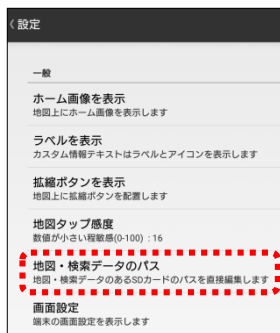
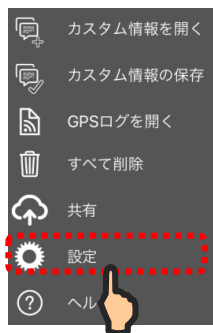


赤枠箇所を入力
※/storage後の
47D2-1300はSDカード
の種類により変わります

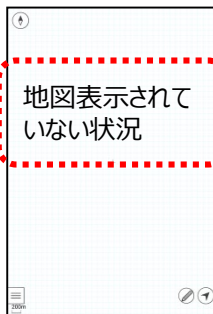


【ご参考】無料アプリで、ファイルを管理するアプリケーションが配布されていますので、ご利用することをお勧めいたします。

② 設定メニューから[設定]の[地図・検索データのパス]をタップし、確認した「パス」を入力し、「OK」をタップします。

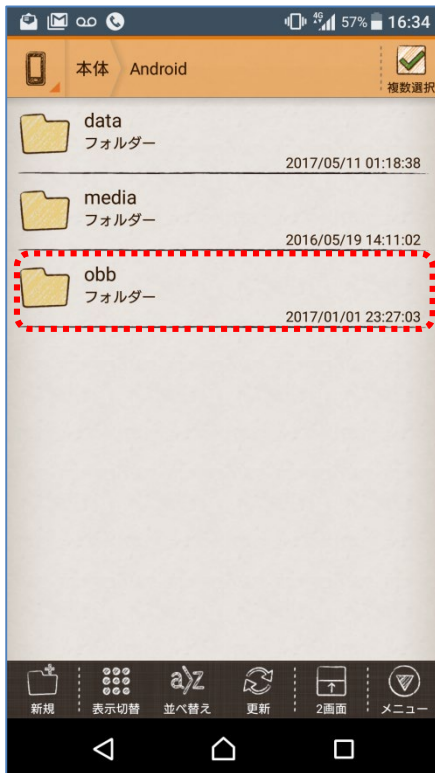


③ 地図が表示されます。



■ご利用の機種によっては、外部のSDカードを受け付けない場合があります。
※機種により、次ページに記載した「フォルダー」を削除することにより、表示される場合もあります。
または、内部メモリーへの格納をお願いいたします。

- ④ 地図がまだ表示されない場合は、「本体/Android」フォルダー内にある「obb」フォルダーを削除して下さい。

**注意事項**

製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上